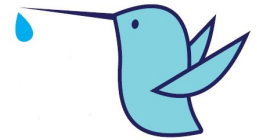


第4期団体指定寄付参加団体に最後の応援をお願いします。



バレンタインキャンペーン開催中！2/28まで

ぎふハチドリ基金の寄付メニューには、団体を指定して寄付をする「団体指定寄付」と、ぎふハチドリ基金本体に寄付する「本体寄付」の2つがあります。

団体指定寄付は、今まで、年に2回実施し、現在、第4期の団体が、ぎふハチドリ基金と一緒に寄付募集の活動をしています。

本来なら、2月は第5期の団体も寄付募集を始める時期ですが、今年度は第5期の団体募集を行っておりません。ぎふハチドリ基金設立後2年が経過したので、基金自体の仕組みを見直すために、「団体指定寄付」のメニューはこの2月を最後に、しばらくお休みすることにしました。

今、寄付募集を行っている第4期団体指定寄付の指定団体は3団体で、この2月末で期間が終了します。

2月中に、この3団体に500円以上の寄付をしていただいた方には、団体からのプレゼントもご用意しています。

団体番号1 NPO法人チャイルドラインぎふ

「チャイルドライン」は18歳までの子どもがかけられる無料の相談電話です。親にも友達にも相談できない悩みを相談員に打ち明けたり、おしゃべりすることで心が安定する子どもたち。いじめや虐待の早期発見にもつながります。この電話のことを伝えるカードを岐阜県内の18歳以下の児童・生徒に配布する資金を集めています。

500円以上の寄付のお礼にチャイルドラインのカード

(折り紙ミニかざぐるま付き)

3000円以上の寄付のお礼に「チャイルドラインぎふ」のステッカー1枚



団体番号2 NPO法人ぎふ多胎ネット

子育ては1人でも大変なのに、ふたごちゃん、みつごちゃんの子育て情報は少なく、お母さん、お父さんの悩みは尽きません。そんなご家庭に子育て情報を提供したり、同じ経験をもつ先輩ママ(ピアサポーター)を派遣したり、研修会を開催する資金を集めています。

500円以上の寄付のお礼に「プーさん」のしおり

3000円以上の寄付のお礼に「ハチドリ基金マグネットステッカー」1枚



団体番号3 マドレボニータ東海TOMOS

赤ちゃんのケアは手厚いのに、産後の母体のケアは後回しになりがち。母親は、産後の辛さをかかえたまま子育てに奮闘しなければなりません。出産後の心身の健康を取り戻す産後ケアプログラムを、様々な困難を抱える母親に無料で提供するための資金を集めています。

500円以上の寄付のお礼に「マドレボニータ」のステッカー

3000円以上の寄付のお礼に産後女性の実態がわかる小冊子

「産後白書」1冊



〇団体指定寄付の方法

- ①郵便振替 「郵便振替口座 00870-7-198822 ぎふハチドリ基金」へ。
通信欄で寄付先団体を指定ください。
- ②銀行振込、ネットからの寄付をご希望の方は、下記のメールアドレスにご連絡いただくか、ぎふハチドリ基金ホームページのバレンタインキャンペーンのページから寄付のお申込みをいただいた後、ご希望の方法でご入金ください。

寄付の申込み専用メールアドレス hachidori@gifu-npocenter.org

<http://gifunpo-fund.org>

寄付金の状況 (2/2現在)

寄付金総額

4,026,541円

(内訳)

基金本体への寄付金

3,474,105円

(前年度からの繰越金を含む)

第4期団体指定寄付

参加団体への寄付金

111,836円

* 3団体合計。集計分のみ

第3期団体指定寄付

参加団体への寄付金(期間終了)

440,600円(8団体合計)

今までの寄付金収入総額(累計)

(2012.10/1~2015.2/2)

6,776,812円

* 2014年3月末までの支出総額

2,750,271円

(内訳) 支援金累計額 2,520,919円

運営費支出 229,352円



かざして募金

ぎふハチドリ基金はソフトバンクのかざして募金に参加しています。

Facebook <https://www.facebook.com/>

